

神戸ビエンナーレ 2011 招待作家展 REFLEXIONEN ひかり いろ かたち

【開催趣旨】

神戸ビエンナーレ 2011 の会場の一つ、兵庫県立美術館では、日本・ドイツ交流 150 周年を記念した展覧会を開催します。

1950 年代から 60 年代に活動をはじめた前衛美術の気鋭「具体美術協会」と「ZERO (ゼロ)」は、60 年代から展覧会を通じ交流しており、その時代に大きな影響力を持ちました。

「REFLEXIONEN ひかり いろ かたち」と題した本展では、彼らの当時の活動を紹介するとともに、その中からオットー・ピーネ、元永定正に注目、それぞれの次世代の作家としてユリウス・シュミーデル、松井紫朗を紹介し、前衛の先駆から次世代の展開を見つめます。

現代美術をつなぐ両国と両世代を通じて、表現の多様性を体験し、共有する時間を過ごしていただければ幸いです。

【会 期】

2011 年 10 月 1 日(土)～11 月 23 日(水・祝) 会期中無休

開館時間 午前 10 時～午後 6 時 入場は閉館の 30 分前まで(最終日は午後 5 時まで)

【会 場】

兵庫県立美術館 ギャラリー棟 3 階ほか

【主 催】

兵庫県立美術館、神戸ビエンナーレ組織委員会、ドイツ文化センター・大阪

【後 援】

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、財団法人伊藤文化財団

【協 力】

ZERO FOUNDATION、ホテルオークラ神戸

【協 賛】

sailcloth technology、ルフトハンザ・カーゴ AG、京セラ株式会社、株式会社ユーハイム

【展示内容】

1960 年代の日本とドイツの前衛「具体」と「ZERO」の主要作品(オットー・ピーネ、元永定正)を紹介。あわせて両国の次世代を担う若手作家(ユリウス・シュミーデル、松井紫朗)を紹介します。

【神戸ビエンナーレ 2011 観覧料】

チケット 兵庫県立美術館会場 + 神戸ハーバーランド会場共通券

会期中の2日間有効(連続しない日も可)

大人 1,200[1,000]円 / 大学生・シルバー(65才以上)500[400]円

神戸ビエンナーレ 2011 ご入場の方は、兵庫県立美術館で開催中のコレクション展 を無料でご鑑賞いただけます。また開催中の特別展「榎忠」展を団体料金割引にてご覧いただけます。

[]内は前売料金。(発売期間: 9月30日(金)まで)

高校生以下及び障がい者(介護者1名まで)は、兵庫県立美術館・神戸ハーバーランド会場は無料。

高校生、大学生、シルバー(65歳以上)は、学生証・免許証など年齢確認が出来るものを持参してください。

障がい者は、当日受付に障がい者手帳を持参してください。

払い戻しは行いません。

チケットは、期間中の2日間有効(連続しない日も可)。

【備考】

・兵庫県立美術館会場と神戸ハーバーランド会場を結ぶ船を運航する予定です。航路や料金など詳細については後日発表いたします。

船料金はビエンナーレチケットとは別に必要です。

荒天時は安全上船の運行が中止となります。

【問合せ先】

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL 078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

展覧会の内容に関すること: 企画担当学芸員 河崎晃一 / 速水豊

TEL 078-262-0909 FAX 078-262-0913

情報提供・広報に関すること: 営業・広報グループ

TEL 078-262-0905 FAX 078-262-0903

神戸ビエンナーレ 2011 全般に関すること

神戸ビエンナーレ組織委員会事務局 〒神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所2号館1階

TEL 078-322-6490 FAX 078-322-6136

招待作家

ZERO :

オットー・ピーネが1957年デュッセルドルフに設立した「グループ・ゼロ」、1960年にパリで設立された「視覚芸術探求グループ」、ロバート・ラウシェンバーグらが1966年にニューヨークに設立した組織「E.A.T.」など、1950年代末から1960年代にかけて相次いで生まれた、アートとテクノロジーの融合を目指すグループの活動を指し、キネティック・アートやライト・アートとの関連で語られることも多い。

1965年にオランダにおいて開催されたZERO(ヌル)展に具体を招待したことから交流が始まる。65年には、吉原治良、吉原通雄が展覧会の準備から参加し、再制作をおこなった。その後も画廊でのグループ展などで具体の作品が紹介された。

*ZEROの作家として、オットー・ピーネ以外にハインツ・マック、ギュンター・ユッカーを紹介する。

オットー・ピーネ Otto Piene

- 1928年 ドイツ、ラースフェ生まれ。
- 1957年 グループ「ゼロ」結成
「タバコの展覧会」(デュッセルドルフ 1960年まで)
- 1958年 個展(シュメラ画廊、デュッセルドルフ)
- 1959年 ドクメンタ(カッセル 1964、1977年)
- 1962年 「NUL」展(アムステルダム市立美術館)
- 1967年 ヴェネツィア・ビエンナーレ(1971年)
- 1968年 ライト・ライン・エクスペリメント(マサチューセッツ州 ケンブリッジ その後大規模なスカイ・イベントを多数開催)
- 1985年 サンパウロ・ビエンナーレ
- 1996年 個展(デュッセルドルフ美術館)他、個展多数開催



【参考作品】
オットー・ピーネ
光によるインスタレーション

具体美術協会:

1954年吉原治良をリーダーに関西の若手前衛美術家が集まった集団。芦屋での野外展、東京での展覧会、舞台を使った活動などそれまでの概念を打ち破る表現で注目された。初期の活動を中心に今日世界的に注目されている。70年大阪万博での活動を最後に72年に解散。

元永定正、嶋本昭三、白髪一雄、田中敦子ら今日の日本の現代美術の中心となる画家が育った。

*具体美術協会の作家として元永定正以外に、吉原治良、嶋本昭三、田中敦子を紹介する。

元永定正 Motonaga Sadamasa

- 1922年 三重県生まれ。
- 1955年 具体美術協会会員となる(1971年退会)
- 1961年 個展「Motonaga First One-man Exhibit」(マーサ・ジャクソン・ギャラリー、ニューヨーク)
- 1964年 「第6回現代日本美術展」(東京都美術館他 優秀賞。以後も出品、受賞多数)
- 1970年 日本万国博覧会(大阪万博)にてお祭り広場における音楽、デザインを担当
- 1980年 「現代の作家2 高松次郎・元永定正展」(国立国際美術館、大阪)
- 1988年 フランス政府より芸術文芸シュヴァリエ章受章
- 1991年 個展(三重県立美術館、三重。2009年)
- 紫綬褒章受章
- 1993年 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ「東方への道」
- 2003年 個展「いろいろかたちながれあふれててらんかい」(広島市現代美術館、広島)他、個展多数開催



元永定正 (ひだりのかたちはあかきみどり)
2011年

次世代の現代美術作家:

ユリウス・シュミーデル Julius Schmiedel

- 1984年 ドイツ、ケルン生まれ
- 2002年 ヴィデオ・パフォーマンス(Casa Max、ケルン)
- 2005年 「アルティチュード」(KHM、ケルン 以後、毎年出品)
- 2007年 ビルギット・リューベルクとの共作展(ズンドルフアー・ヴェールトゥルム博物館、ケルン)
- 2008年 オープン・スタジオ(アトリエ・ビルギット・リューベルク、ケルン)
- 2009年 ライト・インスタレーション(AXA 主催、ケルン 2等賞)
チェシャマ・フィルム・フェスティヴァル(ニューヨーク)
- 2010年 「フルクス・コネクション」(ヴァルボーデンアカデミー、マインツ)
個展(ガレリー・フレンホーファー、ケルン)「ピロウ・ゼロ」(KAI 10、デュッセルドルフ)
- 2011年 「リット・シュピール・オルテ」(光芸術プロジェクト、ベートブルク=ハウ、他)



【参考作品】
ユリウス・シュミーデル
(ストロボライト)

松井紫朗 Matui Sirou

- 1960年 奈良県生まれ。
- 1983年 個展(ギャラリーすずき、京都)以後個展多数
- 1990年 「アートナウ '90 - 関西の80年代」(兵庫県立近代美術館、神戸)
- 1991年 個展「ART TANK Vol.4」(キリンプラザ大阪、大阪)
- 1995年 個展「Tunnel in Blue」(白土舎、名古屋)
- 2001年 「美術館を読み解く」(東京国立博物館表慶館、東京)
- 2004年 個展「The Outside's Inside」(ハイデルベルク・クンストヴェーレン、ハイデルベルク)
- 2006年 個展「Shiro Matsui; Jonah's Green」(ムゼウム・ハウス・エスター、クレフェルト)
- 2007年 個展「what goes in comes out」(白土舎、名古屋)
- 2008年 「大阪アート・カレイドスコープ 2008 大阪時間」(大阪証券取引ビルほか、大阪)
- 2010年 「Trouble in Paradise / 生存のエシックス」(京都国立近代美術館、京都)
「あいちトリエンナーレ 2010」(愛知芸術文化センターほか、名古屋)
- 2011年 個展「亀がアキレスに言ったこと - 新しい世界の測定法」(豊田市美術館、豊田)



【参考作品】
松井紫朗 豊田市美術館の展示
(君の天井は僕の床)
2011年
photo 山本紉

上記図版をプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。
掲載される際には、作者名、作品名、制作年等の情報を必ず記載してください。

神戸ビエンナーレ 2011 招待作家展

REFLEXIONEN ひかり いろ かたち

広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 5 組 10 名まで)をご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

営業・広報グループ 行

F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

希望写真(作品名)	
貴社名	
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	()
F A X 番号	()
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着日希望	
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 5 組 10 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)	組 名分希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または録画テープを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、下記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材、撮影はお断りいたします。

プレゼント用招待券は神戸ビエンナーレ 2011 チケット(兵庫県立美術館会場+神戸ハーバーランド会場 鑑賞チケット)となります。

兵庫県立美術館 営業・広報グループ
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
電話(078)262-0905